

第130回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

| | | | |
|--------|----------|----------|-----------|
| 現金 | 資本 | 売買目的有価証券 | 租税公課 |
| 不渡手形 | 車両 | 売掛金 | 当座預金 |
| 創立費 | 満期保有目的債券 | 支払利息 | 支払手数料 |
| 受取手形 | 減価償却費 | 資本準備金 | 車両減価償却累計額 |
| 有価証券利息 | 未収入金 | | |

1. 村井運送株式会社が発行した社債（額面総額 ¥ 1,000,000）を、額面 ¥ 100につき ¥ 95 で平成23年8月18日に購入し、代金は証券会社への手数料 ¥ 10,000 および端数利息とともに小切手を振り出して支払った。なお、この社債の利息は年率3.65%、利払日は12月末日の年1回、満期日は平成28年12月31日である。また、当社はこの社債を満期日まで保有する予定であり、決算日は3月末日（年1回）である。
2. 中村商店振出し加藤商店あての約束手形 ¥ 500,000 を加藤商店から裏書譲渡されていたが、満期日に決済されなかったため、加藤商店に支払請求をした。なお、償還請求に要した費用 ¥ 30,000 は現金で支払った。
3. 決算にさいし、営業用の軽自動車3台（1台あたりの取得原価：¥ 1,000,000）に対し、生産高比例法により減価償却（記帳方法：間接法）を行った。これらの軽自動車の残存価額は取得原価の10%、見積走行可能距離は100,000kmである。なお、当期の実際走行距離は6,000km、5,000km、4,000kmであった。
4. 都築会計株式会社は、設立にあたり3,000株を1株あたり ¥ 10,000 で発行し、その全株について引受け・払込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、会社法に規定する最低限度額を資本金に計上することとした。なお、設立にあたって発起人が立て替えていた諸費用 ¥ 500,000 を現金で支払った。
5. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)